

様 式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19（共通）

科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和 6 年 6 月 27 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K01870

研究課題名（和文）トランプ政権期の米中関係におけるメディアの役割

研究課題名（英文）Media in US-Sino Relations during the Trump Administration

研究代表者

市川 紘子（Hiroko, Ichikawa）

東京大学・大学院総合文化研究科・助教

研究者番号：30725114

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,700,000 円

研究成果の概要（和文）：これまでの米中関係におけるメディアの役割、そして米国政府の関与の方法に関する実証的研究の成果については、2022年度に国際文化政策学会において、口頭発表のかたちで公表、論文のかたちでまとめる作業を行っている。米国の対中メディア政策のうち、人権問題に焦点を当てつつ、文化政策の実態とその意義を実証的に検討する論考をまとめ、現在投稿中である。米中関係を扱うシンポジウムにおいて、冷戦研究における文化の役割について、コメントを行い、アメリカ太平洋地域研究センター紀要にも掲載した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

米中両国の覇権争いは、リベラルデモクラシーを基調とする普遍主義と文化相対主義という価値の対立の場となり、とりわけ情報やメディアの分野に多くの関心が寄せられている。メディアの質的データ分析を実施した本研究は、注目度が高く、成果が期待される分野を開拓しつつある。先行研究では解明しきれなかった、米国の文化政策の側面を明らかにし、米国の文化政策を対象とする、様々な研究領域に対しての貢献をする。

研究成果の概要（英文）：The results of the empirical study on the role of the media in U.S.-China relations and how the U.S. government is involved were presented at the International Conference on Cultural Policy Research in FY2022. I am preparing to present these results as a paper. I am currently working on a paper focusing on the actual situation and significance of the U.S. media policy toward China, which focuses on human rights issues. At a symposium dealing with U.S.-China relations, I commented on the role of culture in Cold War studies, also published in the Pacific and American Studies.

研究分野：社会学

キーワード：メディア アメリカ パブリック・ディプロマシー

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

米国政府は、20 世紀初頭から様々な形で対外文化政策（メディア政策や各種の文化事業を通じ、対象国における自国の支持者を増加させる対外政策）を実施した。このような政策に関する課題について、日本では主に社会学や国際関係論、米国では社会学、国際関係論、歴史学、東アジア地域研究等の領域において、多くの研究者が取り組んできた。

本研究は、米国の対中文化政策を対象とすることにした。対中関係は、冷戦から新冷戦の時代にかけて重要性を増しており、様々な分野の研究者が米中関係を議論する、重要な曲面である。本研究は両国の文化のフェーズに焦点を当て、とりわけメディア事象において、米国の中国観、対中政策の展望がどのようなものなのかを検討することにした。

2. 研究の目的

本研究では、主に米国メディアがニュースにおいて、人権問題等の米中関係における重要項目を、どのように報道したのかを分析するものである。対象とするメディアは、米国議会が出資する VOA を予定し、他のメディアも必要に応じて比較し、米国のパブリック・ディプロマシーが描く中国像を明らかにしていくことを目的としている

3. 研究の方法

ニュースの質的分析

米中関係と関連して、人権問題等の重要なコンテンツの論調を、質的研究法によって分析する。

ニュースの量的分析

米中関係と関連して、人権問題等の重要なコンテンツの論調を、質的研究法によって分析する。

インタビュー

米中関係のニュース報道に携わる関係者に対するインタビューが可能であれば実施する。

4. 研究成果

量的分析と質的分析を組み合わせた混合研究法を用いて、ニュースの内容分析を実施した。質的分析については、現在、論文のかたちで発表を検討中のため、以下では、人権問題という項目の量的分析についてのみ報告を行う。また、VOA の特徴を明らかにするため、英国 BBC ワールドサービスとの比較研究も行った。

VOA と BBC の比較：人権問題の事例

VOA 放送の音声テープの文字起こしを行い、日本語に翻訳したテキストから、計量テキスト分析ソフトである KH Coder (Ver.3. Beta.07d)を利用して、量的分析を行い、共起語のネットワークを出力した(図 1)。共起ネットワークでは、共起する単語同士の関係が配置と線とで表現される。単語の出現回数は、その単語を囲む円の大きさで表される。共起ネットワークの役割は、それぞれの頻出語の関連性や内容の意味ごとの頻出度合いを可視化することである。VOA と同様の作業を BBC 放送のスク립トにも実施した (図 2)。

VOA と BBC の頻出語を比較すると、両者ともに、天安門事件に関係する単語が多く出現していることは共通している。例えば、「中国」、「北京」、「政府」、「香港」、「デモ」、「軍隊」、「学生」の 7 単語が出現回数の上位 10 位までを占めている。これ以降の順位についても、天安門事件に関係する人物、組織、国家、地域、出来事に関連する単語が並んでいる。頻出語の数値からは、当時の VOA と BBC の両放送局が天安門事件に関する内容を多く扱っているという共通項が見えてくる。

図 2 の中央の上部にあるネットワークが、中国・北京で起きたデモに言及する内容で、最も出現頻度が高い。また、中国におけるデモと中国人留学生、つまり国外にいる学生との関係も示唆される。

BBC の共起ネットワークでは、図の左下に、中国・北京におけるデモや民主化要求に言及する内容が最も高い頻度で出現したことが表現されている。図の中央では、天安門広場および市内において、市民や住民に対し、兵士や戦車の部隊が発砲したことを暴力として批判する記述が多く見られることが表される。これ以外にも、英領香港問題や共産党の政治体制に多く触れられているようである。頻出語の抽出や共起ネットワークを利用すると、VOA と BBC の放送内容の共通項や差異を把握することが可能となった。

哉論：社会学とメディア論の可能性』難波，功士，野上，元，周東，美材（担当：分担執筆）、人文書院 2023 年 5 月

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 市川 紘子	4. 巻 23
2. 論文標題 コメント「冷戦」研究の枠組み構築への問いー「文化」の概念を中心にー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アメリカ太平洋研究	6. 最初と最後の頁 63-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件／うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Hiroko Ichikawa
2. 発表標題 US Radio Diplomacy and Human Rights Issues in Asia.
3. 学会等名 International Conference on Cultural Policy Rsearch（国際学会）
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 難波 功士、野上 元、周東 美材	4. 発行年 2023年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 320
3. 書名 吉見俊哉論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

市川紘子
<https://ichikawa-hiroko.com>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------